

小学校第6学年 学級活動(1)指導案

日 時 平成25年10月29日(火)2校時

指導者 教育センター所員 佐伯美和

1 議題 「北っ子フェスタを盛り上げ、成功させよう！」

文化的行事に取り組むことで、6年生としての意識を高める学級活動(1)ーウ

2 議題について

(1) 児童の実態

本学級32名の児童は、「笑顔・夢」という合い言葉を掲げ、「最後まで笑顔でやりきり、夢に向かってレッツトライ！」という学級目標に向かって活動している。

これまでに代表委員会から降りてきた議題「挨拶いっぱいの学校にするための取り組み」「全校が仲良くなるための活動」「運動会を盛り上げるためのスローガンや児童会種目」についての話し合いをした。また、学級の生活向上を目指して「係活動」や、議題ポストから「声出し大作戦『学級の歌をつくろう』」「ハロウィンパーティーの計画」についての話し合いもした。これらは「6年生としてみんなの前で堂々と話せるようになるためには」という課題の解決を意識して行ってきた活動である。

計画委員会による話し合い活動は、グループ固定の輪番制で行っている。みんなで支え合いながら話し合いをした後、自分たちで決定したことを実践することで、互いを認め大切にする温かい心が育ち、学級の中で安心して生活をする土壌ができています。そのため、学級や学校の行事への取組に意欲的であり、協力し楽しみながら行事を成功させることができる。融和的な雰囲気できたことにより学習意欲も高まっており、自主的に学習する児童も増えています。

それぞれの活動に対して何をすればよいのか具体的に分かっている場合は、積極的な取組ができる。しかし、創造的な活動となると取組への抵抗が見られ、何らかの方向性が示されなければ活動が滞ってしまう傾向にある。

(2) 議題選定の理由

本学校行事では、(2)文化的行事「北っ子フェスタ」の一部である開会行事(1単位時間)を児童が担当し、自主的にその運営に当たる。この場合、北っ子フェスタの開会行事が、児童に任せる自治的活動の場となる。このように、全校で自治的活動を取り入れた学校行事を行うのは、運動会に引き続き2回目である。

この開会行事を運営するに当たり、児童会計画委員会で代表委員会を開く。本校の児童会計画委員会である「運営ボランティア委員会」が、代表委員会で話し合う議題を各学級に提案する。各学級では、そのことを受けて、アイデアを出し合う。本議題「北っ子フェスタを盛り上げ、成功させよう！」も代表委員会から降りてきたものである。

(3) 本議題の指導

学級会は、あくまでも学級の諸問題を話し合う場である。よって、代表委員会から降りてきた議題については、可能な限り、朝の会や帰りの会で学級のアイデアをまとめるのが望ましい。それを1時間の学級会で取り上げ、話し合うのには次のような意図がある。

先の運動会で発揮したリーダー性と最高学年としての自信を、北っ子フェスタや学級・学校生活の充実・向上へ、更には本学級の課題でもある創造的な活動へとつなげていきたい。

そこで、事前の活動では、単に代表委員会から降りてきた議題の柱について学級のアイデアを出す話し合いのみでは終わらせないようにする。「自分たちが最高学年としてできることは何か」ということについて考えることができる話し合いの柱も立て、フェスタの盛り上げ方について意見を出し合う場を設定させる。計画委員会がそのようにして作成した学級会の原案を、運動会後の振り返り活動で立てたフェスタに向け

ての目標を互いに確認し合いながら告知するようにする。

本時の話し合い活動の柱1では、まず、自分たちの思いに加え全校的立場で考えたアイデアを出し合うようにする。そして、出された意見を比べ、まとめていく。このとき、無理して一つにまとめる必要はなく、学級のアイデアとしていくつかまとめてもよいこととする。また、柱2で話し合う「フェスタの盛り上げ方」については、肯定的な意見を出し合っていくという話し合いをさせる。みんなの思いを受け入れようと和やかな雰囲気をつくるようにする。

事後の活動では、決まったことを学級の考えとして代表委員会で紹介する。その後、各学級から出されたアイデアの中からよりよいものを選び、決定する。そして、決定したことを全校で実践していく。その時、「ここで得たことをこれからの学級・学校生活にどう生かすか」ということについても考えながら、北っ子フェスタに取り組んでいけるようにしたい。

3 評価規準

	集団活動や生活への 関心・意欲・態度	集団の一員としての 思考・判断・実践	集団活動や生活についての 知識・理解
第5学年及び第6学年 学級活動(1)	学級や学校の生活の充実向上にかかわる問題に関心を持ち、他の児童と協力して自主的に北っ子フェスタに取り組もうとしている。	楽しく豊かな学級や学校の生活をつくるために話し合い、自己の役割や責任、集団としてのよりよい方法などについて考え、判断し、信頼し支え合って実践している。	みんなで楽しく豊かな学級や学校の生活をつくることの意義や、学級集団としての意見をまとめる話し合い活動の効率的な進め方などについて理解している。

4 本議題のねらい

北っ子フェスタをどのようにして盛り上げ成功させるかについて考え、その実現に向けて力を合わせ、互いに役割や責任を果たし合うことで、学級・学校生活の充実と向上をさせようとする自主的、実践的な態度を育てる。

5 事前の活動

日時	児童の活動	指導上の留意点	目指す児童の姿と評価方法
10月21日 (月)	○ 第1回計画委員会 ・ 原案づくり ・ 役割分担 ○ 学級活動ノート の配布	○ 代表委員会から降りてきた代表委員会の原案を基に学級会の原案を作成するが、それだけではなく、6年生としての取組の方向性も考えられるような柱立てをするように促す。 ○ 運動会の振り返り活動の際、フェスタに向けて立てた自己目標を意識しながら、自分の意見を考えるように声を掛ける。	【関心・意欲・態度】 計画委員会の活動や話し合いの準備などに自主的に取り組もうとしている。 【思考・判断・実践】 議題について自分の考えをもち、話し合いの準備をしている。
10月23日 (水)	○ 第2回計画委員会 ・ 話し合い活動に向け	○ 話し合いがスムーズに進められるように、打合せをする。	【知識・理解】 話し合い活動の準備や進め方

	ての準備 ・ 進行の仕方の確認	について，理解している。
--	--------------------	--------------

6 本時の目標

北っ子フェスタをどのようにして盛り上げ成功させるか，全校の立場に立った案を出しながら，最高学年として自分たちにできることを考えることができる。

7 本時の展開 【第8回 話し合い活動】

議題	北っ子フェスタを盛り上げ，成功させよう！！			
提案理由	<ul style="list-style-type: none"> 代表委員会原案を受けて話し合うことを書かせる。 運動会への取組で得たこと，学んだこと等を書いて，フェスタにつなげさせる。 どんな北っ子フェスタにしたいか，方向性を書かせる。 			
話し合いのめあて	<ul style="list-style-type: none"> (思考に関すること) (発表に関すること) (聞く態度に関すること) 等，視点を与えてめあてを立てさせる。 			
	話し合いの順序	指導上の留意点	資料	目指す児童の姿と評価方法
導入 7分	1 始めの言葉		代表委員会原案の拡大(電子黒板)	【関心・意欲・態度】 司会や記録の仕事，話し合いに積極的に取り組もうとしている。
	2 学級の歌	○ 話し合いで，自分の思いを表現(発言や反応)できるように，また，学級の雰囲気や和らげ，高めるために，笑顔で楽しく歌うように促す。		
	3 司会グループの紹介	○ 自分の役割意識を自覚できるように，堂々と自己紹介させる。		
	4 議題，提案理由，話し合いのめあての確認	<ul style="list-style-type: none"> ○ 提案理由の中に線を引いた大切な部分を確認させながら，聴くようにする。 ○ 線を引いた部分が，話し合いで意見を述べたり，出された意見をまとめたりするときの根拠となることを意識させる。 		
展開 30分	5 話し合い 柱1 (代表委員会原案の柱についての話し合い)	<ul style="list-style-type: none"> ○ 単なる自分たちの思いだけでアイデアを出すのではなく，全校的立場で考えたアイデアを出し合い，まとめていく話し合いにする。 ○ 計画委員には，次のような進行をさせる。 	学級活動ノート 各係の補助シート	【思考・判断・実践】 ・発表会につなげるための開会行事の内容について，考えたことを発言している。 ・友だちの発言に対して，相手の思いを
	フェスタの開会行事で行う内容を考えよう。	【司会・副司会には】		

	<p>柱2 (学級独自の話し合い)</p> <p>6年生としてフェスタ全体を盛り上げるための工夫を考えよう。</p>	<p>「出し合う→比べ合う→まとめる」という流れで話し合わせる。</p> <p>【黒板記録係には】</p> <p>賛成理由が明確に視覚化されるように、理由ごとに色分けをして賛成票を提示させる。</p> <p>○ 「何を指してこの行事を行うのか」ということを意識させながら、最高学年として、どんなことをすればフェスタが盛り上がり、成功させられるか考えさせていく。</p> <p>【観察係には】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ めあてに沿った観察をさせる。 ・ 発言ごとの話し合いの進行の様子を観察させ、発表マニュアルも参考にさせながらMVPを選ばせる。 	<p>運動会の振り返りで話し合った内容やフェスタに向けて立てた個人目標</p>	<p>理解し、受け止めようという意識をもって、聴いている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ フェスタを盛り上げ、成功させるため、自分たちにできることについて、行事の目的も意識させながら、これまでの経験を生かして自分の思いを発言している。 <p>話し合いに上手く参加できない児童に、まずは、友だちの発言に対する反応をするように促す。</p>
<p>終末8分</p>	<p>6 決まったことの確認</p> <p>7 話し合い活動の振り返り</p> <p>8 今日のMVPの発表</p> <p>9 先生の話</p> <p>10 終わりの言葉</p>	<p>○ ノート記録の発表に不足がある場合は、助言する。</p> <p>○ 学級活動ノートにある「学級会の振り返り」に自己評価させながら、必要な児童には指導を行う。</p> <p>○ 観察係の記録を基に、発表の仕方のモデルとなる児童を選ぶように支援する。</p> <p>○ 話し合いでの児童のがんばりを紹介し、よさ見つけの視点を与えとともに、価値付けを行う。</p> <p>○ 運動会後の下学年の6年生に対する思いを紹介し、フェスタに向けた活動意欲を高める。</p>	<p>学級活動ノート</p> <p>下学年から6年生等へのインタビュービデオ</p>	<p>【知識・理解】</p> <p>決定したことについて理解している。</p> <p>理解してしない子には、板書を一緒に追いつながりながら、決定したことの理解を図るようにする。</p> <p>【関心・意欲・態度】</p> <p>決定したことを基に、実践することを楽しみにしている。</p> <p>意欲の低い子には、事後の活動ぶりを注視し、必要に応じて寄り添い、楽しみながら活動できるように支援する。</p>

8 事後の活動

日時	児童の活動	指導上の留意点	目指す児童の姿と評価方法
<p>10月31日 (木)</p>	<p>○ 第4回代表委員会への参加・報告</p>	<p>○ 代表委員会では、各学級から出されたアイデアを基に、全校のことを考えながら、よりよいものに決めようというスタンスで話し合いに参加させる。</p>	<p>【関心・意欲・態度】</p> <p>決定したことについて、自主的に計画や準備に取り組もうとしている。</p>

<p>11月1日 (金)</p> <p style="text-align: center;">↓</p>	<p>○ 北っ子フェスタに向けての練習・準備</p>	<p>○ 代表委員会で決まったことは、確実に学級に伝えさせる。</p> <p>○ フェスタを盛り上げ成功させたという気持ちを持続させ、積極的に活動できるように声を掛ける。</p> <p>○ それぞれの役割や責任を果たし合おうと、児童自身が意識して努力できるように励ます。</p>	<p>【知識・理解】 決定したことについて、協力して実践することの意義や方法について理解している。</p>
<p>11月16日 (土)</p>	<p>○ 北っ子フェスタ</p>		<p>【思考・判断・実践】 自他の役割や集団決定した内容を頭に置き、信頼し支え合って実践している。</p>
<p>11月19日 (火)</p>	<p>○ 北っ子フェスタの振り返り</p>	<p>○ 自分たちの活動を振り返り、成果や課題を日常生活につなげる。</p> <p>○ 振り返るときに書いた児童の感想は、互いに読み合えるように、教室掲示をする。</p>	<p>【関心・意欲・態度】 フェスタで得たことを日常生活へ生かそうとしている。</p>

* 振り返りシート

北っ子フェスタを振り返ろう！

6年組 名前

- ① 上級生として、どんなことに力を入れ、その達成感を味わいましたか？
- ② 盛り上げるために工夫したことは、どんなことですか？
- ③ この活動を通して、どんなことを得たり、学んだりしましたか？
- ④ 自由に感想を書きましょう。

☆ 6年生も残すところあと4ヵ月ほどになってきました。
これまでの取り組みをこれからの日常生活に生かしましょう！！

